

会 議 録

令和3年度第12回宮古島市教育委員会（定例会）		
日 時	令和3年12月23日（木） 開会：午後2時 閉会：午後3時27分	
場 所	宮古島市役所 3階 会議室	
出 席 委員名	教育長 大城 裕子 教育委員 渡久山 ひろみ 教育委員 下地 一美 教育委員 前泊 直子	
事務局員	(教育部長) 部長：上地 昭人 (生涯学習部) 部長：楚南 幸哉 (教育総務課) 次長兼課長：砂川 朗 課長補佐：古謝 勝広 総務係長：米田 美香	
説明員	(子ども未来課) 課長：久貝 順一 (教育研究所) 指導主事：砂川 陸紀 (生涯学習振興課) 課長：湧川 博昭 補佐：与那嶺 彰成	
議案等	件 名	結 果
承認事項	会議録署名委員の指名について	可 決
報 告	会議録の承認について（令和3年度第11回教育委員会（定例会）） 教育長報告	
議案第31号	令和4年度宮古島市立幼稚園休園の承認について	可 決
議案第32号	現職教職員の大学院への派遣及び補助金交付要綱の制定について	可 決
議案第33号	宮古島市美ら島おきなわ文化祭2022補助金交付要綱の制定について	可 決
そ の 他	宝塚医療大学について（報告）	

会 議 録

大城教育長	<p>これより令和3年度第12回教育委員会（定例会）を開催します。 本日は、中尾忠作委員が欠席です。 それでは、日程第1「会議録署名委員の指名について」です。本日の会議録署名委員に、下地一美委員を指名します。よろしく申し上げます。</p>
大城教育長	<p>次に日程第2「会議録の承認」です。 令和3年度第11回の教育委員会会議録です。 しばらく時間をおきますので確認をお願いします。</p> <p>ご意見、質疑等あればお願いいたします。</p> <p>前泊委員</p> <p>情報提供なのですが、宮古地区学校給食研究協議会という県の学校給食研究協議会と連携して、委員会からの補助で運営されている組織がありまして、以前は南小学校の校長が宮古地区学校給食研究協議会の会長を兼ねて、毎年研究事業の実施や、市の健康増進課と連携して市の食育の事業を盛り込んだ事業実践をしていました。</p> <p>次回、学校給食共同調理場運営委員会の委員を任命する際は、協議会の方から一人でも加えて頂けると、連携していけるのかなと思います。</p> <p>栄養士さんも使って授業の中で子ども達がたてた献立を、学校給食の献立に取り入れてもらったりしていましたので、少し関係があるかと思います。</p> <p>大城教育長</p> <p>他に質疑等ございませんか。他になければ、第11回教育委員会会議録について承認としてよろしいでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>日程第2「会議録の承認」については、承認とします。</p>
大城教育長 教育総務課 砂川次長 大城教育長	<p>次に日程第3「教育長報告」です。 事務局から説明をお願いします。</p> <p>（ 資料を読み上げて説明 ）</p> <p>（ 1カ所訂正と補足 ）</p> <p>質疑等あればお願いします。</p>

下地委員	12月2日のNHKの電話取材というのは、どういう内容でしたか。
大城教育長	<p>NHK 沖縄から成人式に関する取材で、県内の殆どの市町村が、規模を縮小しての開催を予定しているが、宮古島市は中止を表明しており、その理由等についての取材でした。</p> <p>宮古島市としては式典は中止しますが、代わりにいろんな事を考えていますという説明をさせてもらい、当日の夕方のニュース番組で放送されました。</p> <p>日本テレビからもその翌日に取材がありまして、それも同じような内容での取材でした。</p> <p>他に質疑等ございませんか。</p>
下地委員	成人式の式典の中止はわかりますが、補足して記者会見の話、祝い金等の話もしたのですか。
大城教育長	新成人を対象に、1万円の祝い金を給付するという話をしました。
渡久山委員	式典を中止しているのは、宮古島市だけですか。
大城教育長	<p>その時点ではそうだったようです。</p> <p>那覇市は数年前から中学校区での開催を、市が支援するという形らしいですが、これまで開催してきたものを中止というのは宮古島市だけで、お隣の石垣市では昨年度は中止でしたが、今年度は規模を縮小して開催するという事で予定されているようです。</p> <p>第6波がどうなるか分からないというところで、8月の終わりぐらいから、生涯学習部の担当職員、部長、課長も含めて何度も話し合いの場を持ち、最終的に市長と調整をさせて頂いて、11月上旬に中止という判断をして、11月の10日に記者会見を行い、その後、新聞紙面等で報じられました。</p> <p>他の所が開催というところで、宮古島市が早々と中止という判断をした経緯や動機等を、教えて欲しいという事での取材でした。</p>
渡久山委員	来年度は開催できるようになるといいですね。

大城教育長	<p>そうですね。本当に先行き不透明というところで、11月の上旬には少し収まり落ち着きつつあったのですが、1月の第6波がすごく懸念されていた事と、新たな変異株の感染拡大の恐れもあるという発信がなされていたので、総合的に考えて判断したというところですよ。</p> <p>他の市町村は開催なのに宮古島市は中止なのかという、否定的な捉え方ではなくて、それだけ1月の感染拡大を危惧しているという事ですかというような内容でした。</p> <p>それと、南雲書店さんの南雲さんが120年前の公文書が手に入ったということで、沖縄県の土地整理事務局から出された公文書で、宮古の古い字名が記されていて、大変貴重な資料になると思います。</p> <p>生涯学習部では宮古島市史の自治会編を発行する予定があり、すごくタイミングが良くて、自治会毎の調査研究を行う上で貴重な資料となるという事で、関係者一同喜んでるところですよ。</p> <p>他に質疑がなければ、教育長報告について承認とさせて頂いて宜しいでしょうか。</p> <p>(異議無し)</p> <p>教育長報告について承認と致します。</p>
<p>大城教育長</p> <p>教育研究所 砂川指導主事</p> <p>大城教育長</p> <p>前泊委員 教育研究所 砂川指導主事</p> <p>大城教育長</p> <p>前泊委員</p>	<p>次に日程第4ですが、日程の変更をさせて頂いて「議案第32号 現職教職員の大学院への派遣及び補助金交付要綱の制定について」を議題とします。それでは、説明をお願いします。</p> <p>議案第32号についてご説明致します。 (資料に基づき説明)</p> <p>説明が終わりました。お手元の資料を確認し、質疑等があればお願いします。</p> <p>派遣される方はもう決定していますか。</p> <p>来年度に関しては、今選考を進めているところです。</p> <p>今年度は1名、4月から派遣されています。 令和4年度は今選考が始まるところです。</p> <p>令和4年度は何名になる予定ですか。</p>

<p>教育部 上地部長</p>	<p>2人になります。大学の認定を受けて初めて決定となります。その後、下地玄信基金を原資にして、要綱に沿って補助金を交付することになります。</p>
	<p>議会で玄信基金の条例が可決されましたので、それを受けての要綱の整備になります。</p>
<p>学校教育課 与那覇課長</p>	<p>訂正をお願いします。様式第1号の中で宛先がありませんので、要綱の中で教育委員会へ申請するとありますので、左上の方に宮古島市教育委員会教育長と入れて下さい。</p>
	<p>それから様式第2号の方は、条項では当該職員に派遣決定通知書を交付するとなっていますが、これは宛先が校長になっていますので、この部分を申請者宛に変える。</p>
<p>教育研究所 砂川指導主事</p>	<p>宛先ですね。ありがとうございます。</p>
<p>教育部 上地部長</p>	<p>これは、当該職員に派遣決定書を送るから様式を直せばいいんですよ。</p>
<p>学校教育課 与那覇課長</p>	<p>学校長宛ではなくて、当該職員宛に他の様式も統一して下さい。</p>
<p>教育研究所 砂川指導主事</p>	<p>わかりました。</p>
<p>前泊委員 学校教育課</p>	<p>様式第2号について、文章中の貴職員についての部分はどうか。</p>
<p>与那覇課長</p>	<p>そうですね、この文章も変えないといけません。</p>
<p>大城教育長</p>	<p>派遣決定通知書の文言を一部修正して下さい。</p>
	<p>他にございませんか？</p>
	<p>第1条にもあるように、宮古島市の教職員に確かな指導理論と優れた実践力を身につけて頂いて、学校教育における指導的役割を果たす人材育成を図る事業となります。</p>
<p>下地委員</p>	<p>申請をするものですから、支障の無いように事務方がよく目を通して、ミス等は訂正して頂き進めていけば、別に問題はないと思います。</p>
<p>大城教育長</p>	<p>よろしいですか。それでは「議案第32号 現職教職員の大学院への派遣</p>



	<p>及び補助金交付要綱の制定について」は様式を一部修正の上、可決としてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、「議案第 32 号 現職教職員の大学院への派遣及び補助金交付要綱の制定について」は、様式を一部修正の上、可決とします。</p>
大城教育長	<p>次に日程第 5 「議案第 33 号 宮古島市美ら島おきなわ文化祭 2022 補助金交付要綱の制定について」を議題とします。</p> <p>それでは、説明をお願いします。</p>
生涯学習振興課 與那嶺補佐	<p>議案第 33 号についてご説明いたします。</p> <p>(資料に基づき説明)</p>
大城教育長	<p>説明が終わりました。お手元の資料を確認し、質疑等があればお願いします。</p>
下地委員	<p>執行する側の教育長と関係する機関の皆さんが、よく吟味して、事業計画に沿ったものか、あるいは規模が小さくないか、両方の規定を十分に果たしているかその点を注意すれば、事務方と教育長の皆さんの問題ですので、あまり委員会で取り上げる必要ないと思いますよ。</p> <p>ただ報告事項として、趣旨にそってやった結果、大きな問題はありませんでしたと報告して頂ければ、それでよろしいかと思います。</p> <p>実際の作業に当たっては、皆さんでいろいろ準備して粗相の無いようにやっていただければ、それに越した事は無いと思います。</p>
渡久山委員	<p>これは毎年行われているものですか。</p>
大城教育長	<p>これは来年度だけの催し物になります。毎年各都道府県持ち回りで開催している国民文化祭が来年度、沖縄で開催される事になっていて、本土復帰 50 周年の記念事業として県としては取り組むのですが、第 37 回国民文化祭と第 22 回障害者芸術文化祭の二つの文化祭を一つにして、美ら島沖縄文化祭 2022 として取り組む文化祭の中の継続事業を宮古島市で行うという事で、市としては日本詩人クラブと日本現代詩人会とタイアップして、言葉の祭典という事業に取り組みます。その他に、関連事業として様々なイベントが予定されているのでそこは担当職員からも少し補足をお願いします。</p>

生涯学習振興課 湧川課長	<p>県の事務局の方といろいろ調整をさせて頂いています。</p> <p>具体的にどの事業を進めていくのか、今は申し上げる事が出来ませんが、華やかな事業、ウェルカムの精神で事業を展開していきたいと思っております。</p>
生涯学習振興課 與那嶺補佐	<p>来年10月29日、現代詩の祭典を宮古島市で全国からテーマを設けて作品を募集して、講評と表彰式を行います。それに合わせて毎年行っている市民総合文化祭、児童生徒の部も同じ会場で行う方向で進めております。</p> <p>県全体で様々な催し物が開催される予定ですが、宮古島市としても、国民文化祭、独自事業を展開しながら盛り上げていきたいと思っております。</p>
大城教育長	<p>他に質問ありますか。なければ原案の通り可決としてよろしいでしょうか。 (異議なし)</p> <p>それでは、「議案第33号 宮古島市美ら島おきなわ文化祭2022補助金交付要綱の制定について」は、原案のとおり可決とします。</p>
大城教育長	<p>次に日程第6「議案第31号 宮古島市立幼稚園休園の承認について」を議題とします。</p> <p>それでは、説明をお願いします。</p>
子ども未来課 久貝課長	<p>議案第31号についてご説明いたします。 (経過・現状等説明)</p>
大城教育長	<p>説明が終わりました。お手元の資料を確認し、質疑等があればお願いします。</p>
下地委員	<p>これは来年度小学校の入学にも繋がる事と思いますが、小学校入学も幼稚園と同じ5名以下という基準がありますか。小学校1年は1人でも大丈夫ですか。</p>
教育部 上地部長	<p>小学校は入学者がゼロであっても、6学年ありますので問題ありません。</p> <p>幼稚園の管理規則で5名となっており、現時点で1人足りないという事で、該当園児の父兄の方々や関係者の方へ休園の可能性があり、その場合は別の園に行く事になる旨を子ども未来課の方から説明したところ、申し込みを検討するという方が3名いらっしゃるという情報がありますが、その方達も園児の多いところに行かせたいという思いもあり、迷っているようです。</p>

	<p>で、ギリギリまで待っている状況です。</p> <p>規則では、12月末までに委員会で決定する事になっておりますので、本日決定するのか、或いはいきなり休園というのではなく、12月末の28日の5時まで期限を延長し、マスコミ報道等で市民の皆さんに情報を提供した後に、5人に達した場合は西辺を継続するという事で、この案から西辺幼稚園の部分を削除した案を、皆様に了承して頂くという事を私から提案しますが、事務局からの提案として受け取って頂けたらと思います。</p> <p>幼稚園が無くなる事は小学校に響くという事で、それを心配している方もいらっしゃると思います。学校教育課長から現状等をお聞き頂いて、どういった方向が一番いいのかという事をぜひ今日は、結論を出していきたいと思いますので、宜しくお願い致します。</p>
<p>下地委員</p>	<p>委員会としては28日の5時まで待って頂いて、可能性が少しでもあれば摘み取らずに、地域の方にも協力してもらって探してでも何とか存続出来ればと思いますが、それでもどうしても駄目だったという場合は、該当する4名の園児に対して、近隣の保育園に入れるようにする等、解決策を何とか見いだして貰いたいと思います。</p>
<p>子ども未来課 久貝課長</p>	<p>4名の園児の保護者の内、2人の方から心配して連絡がありましたので、まだ決定ではない旨を伝えたのですが、仮に休園となった場合には相談を受けて、希望している園に行かせるような努力をしたいと思っています。</p> <p>但し、保育所に関しては希望する方が沢山居ますので、希望に沿う事は難しいかもしれませんが、第1希望、第2希望、第3希望という形で出してもらって、空きがある園の方に割り振りたいと考えています。幼稚園に関しては若干定員に空きがありますので、それは大丈夫だと思います。</p>
<p>前泊委員 学校教育課 与那覇課長</p>	<p>情報を教えて下さい。西辺地区の状況は来年、再来年度、令和5年度の新入学生も4名ぐらいっていう形ですか。</p> <p>今は4人という事でPTA会長や、小学校の校長先生が動いているという状況の中で、若い世代の西辺出身の保護者に声掛けした中で、祖父母が西辺にいる方が3名いると聞いてはいますが、最終的に判断するのは保護者の皆さんですので、出来れば23日までに申請に行くようにという話はしているという事ですが、無理強いはできないという事で今日になっていると思って</p>

<p>教育部 上地部長</p>	<p>おりますので、まだ情報が入っていない皆さんもいると思いますので、新聞報道等により動きがあるのかなというところです。令和5年度、6年度は5人以上いると聞いております。</p>
<p>大城教育長</p>	<p>西辺は小中学校は市内から通っている子も多いのですが、幼稚園までは自宅から近い所という考えもあると思います。令和4年度が特に少ないという事です。</p>
<p>教育総務課 砂川次長</p>	<p>教育委員会としても、何とか休園を回避できないかという事で、情報収集していたのですが、保護者の意向を一番大事にしないといけないというところで、ここは一度情報が外に出て、それをご覧になった関係者の方々が申し込んでくるかもしれません。宮古島市立幼稚園管理規則の第3条、幼児の募集及び選抜で、宮古島市教育委員会は幼児の募集及び選抜に関して必要な事項を毎年あらかじめ告知するとともに広く周知するものとする。第2項、前項による募集の結果、幼児数が次条基準に満たないと見込まれる幼稚園については毎年12月末までに教育委員会の承認を経て休園とすることができるという事で、28日の5時まで待って、状況を見守りながら最終的に判断という事にしていきたいと思いますが、如何でしょうか？</p> <p>(異議なし)</p> <p>西辺幼稚園の休園に関しては12月末までの状況見極めて、その時点で申込者がなければ休園という事でよろしいですか。</p>
<p>教育部 上地部長</p>	<p>現状として12月28日まで申込者数の定員に満たない場合、原案通り可決するという事で、仮に12月28日までに定員を満たした場合は、原案の西辺幼稚園の部分を削除した上で、可決という事でよろしいでしょうか。</p>
<p>教育総務課 砂川次長</p>	<p>臨時会で決定するのではなく、12月28日時点での申込状況によって、いずれかの案を承認するという事で整理してよろしいですか。</p>
<p>大城教育長</p>	<p>原案と修正案を両方持っていて、申込の状況次第で決定するという事で対応するという事で整理します。</p> <p>それでよろしいですか。他に質疑等なければ、12月28日まで申込者数の定員に満たない場合、原案通り可決するという事で、仮に12月28日までに</p>

	<p>定員を満たした場合は、原案の西辺幼稚園の部分を削除した上で、可決という事でよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、「議案第31号 宮古島市立幼稚園休園の承認について」は、先程のとおりに致します。</p>
<p>大城教育長 教育部 上地部長</p>	<p>次に日程第7「その他」で何かありますか。</p> <p>去る12月議会で、議案第115号として可決して頂きました「財産無償譲渡について」議会に提出した資料になります。</p> <p>(資料の内容、議会への説明、今後の流れについて説明)</p>
<p>下地委員</p>	<p>スタート時が大事ですからね。慎重に考えて、特に無償譲渡という建物に関してはいいのですが、新たな計画を立ててもあれだけの土地を取得するには、土地所有者の方々から了解を得て、値段の交渉をしなくてはなりませんので、僕は賃貸借して本当に感謝しています。</p> <p>大学の規模は、1学年ですか2学年ですか。</p>
<p>大城教育長</p>	<p>1学年です。</p>
<p>下地委員</p>	<p>定員は何名を予定していますか。</p>
<p>大城教育長</p>	<p>100人です。</p>
<p>下地委員 教育部 上地部長</p>	<p>100人、かなりの規模ですね。</p> <p>1年生で100名、毎年新しい1年生が入ってきますけれども、今のところはスタートは100名、その他に日本語を教える為に留学生が40名の枠。100名のうちに宮古島の枠は30名取っているという事で、これは校長先生など方々回ってですね、希望者がいれば枠はこれだけ確保しますという事です。</p> <p>宮古の子ども達はここで1年間学び、2学年から兵庫に行く事になりますが、医療大学ですから医療学部を持っていますので、そこへの編入等考えていらっしゃいますので、例えば1学年は英語、一般教養、人体の化学等を提供して、次は医療学校に編入し医療系を勉強する事も出来るし、普通に観光学部に行く事も出来る。医療をわかる観光の人材を作るのが彼らの目標、日</p>

<p>大城教育長</p>	<p>的でもありますので、これからの観光は医療を分かる人じゃないと接待まで出来ないという趣旨を話しておりました。</p> <p>他にご質問はありませんか。なければ、以上を持ちまして本日の日程はすべて終了しました。</p> <p>これで、令和3年度第12回宮古島市教育委員会（定例会）を閉会します。 お疲れ様でした。</p>
	<p>教育長 大城 裕子 </p> <p>会議録署名委員 下地 一美 </p>